

令和 6 年度 第 3 回 清 須 市 行 政 改 革 推 進 委 員 会 に お け る ご 意 見 へ の 対 応

令和 6 年 1 2 月 1 7 日 より 書 面 で 開 催 し た 令 和 6 年 度 第 3 回 清 須 市 行 政 改 革 推 進 委 員 会 に お け て、「清 須 市 行 財 政 改 革 推 進 プ ラ ン (第 5 次 行 政 改 革 大 綱) 案」に 対 し て いた だ き ま し た ご 意 見 へ の 対 応 に つ い て、以 下 の と お り 整 理 し ま し た。

| No | 該当箇所 | 委員会で出たご意見 | ご意見への対応 |
|----|---|---|---|
| 1 | 4 ページ II これまでの行財政改革に関する取組 2 「第 4 次 行 政 改 革 大 綱 中 間 見 直 し 版」 での主な取組結果 | 「方向性③ 多様な主体との連携・協働の推進」における重点改革項目 7「市民協働の推進」について、令和 3 年から清須市市民協働に参加させてもらっている。協働テラスや個々のイベントにも可能な限り参加させていただいている中で「マンネリ化」を感じている。新しい、若い世代の参加の実績もあるが弱く、「清須市が住み続けたいまちづくりのためにこんな活動を行っている」とボランティアに興味の薄い方にも伝えられる要素をプラスしたプランになればと思う。 | 1 2 ページは、これまでの行財政改革に関する取組として、「第 4 次 行 政 改 革 大 綱 中 間 見 直 し 版」の 主 な 取 組 結 果 を 箇 条 書 き で 重 点 改 革 項 目 ご と に 整 理 し、市 民 協 働 の 取 組 に つ い て は、市 民 協 働 テ ラ ス の 開 催 及 び 地 域 情 報 プ ラ ッ ト フ ォ ー ム の 運 用 開 始 の 2 点 を 記 載 し て い ま す。 ご意見の主旨であるボランティアへの参加促進については、重要な点ですが、協働テラスの開催を効果的に行うためのアイデアであると考えます。このため、現状の記載のままとし、ボランティアの参加促進のアイデアは今後事業を行う際に留意することにいたします。 |
| 2 | 7 ページ、8 ページ III 市を取り巻く状況・行財政改革の必要性 2 職員 | 該当ページの表中において「技能労務職」とあるが、市民からするとなじみがなく、理解が進みにくいと思う。また、当市においては、どのような職種が該当するのかを明記することで、より理解が進むと思う。欄外で構わないので、明記したらどうか。 | ご意見のとおり「技能労務職」という単語は、該当ページに併せて記載している「一般事務職」及び「保育職」に比べ、職種の想像が難しいため、各表の下部において単語の説明を追加しました。 |
| 3 | 1 0 ページ III 市を取り巻く状況・行財政改革の必要性 3 財政 | (2)の支出において掲載している「一般会計における歳出決算額(性質別)の推移」のグラフにおいて、「公債費」及び「繰出金」の折れ線グラフが重なっている箇所もあるが、線の色が「赤」及び「紫」で似ており判別がしにくい。どちらかを違う色にした方が、より判別しやすくなるのではないか。 | ご意見のとおり視認性を高めるため、決算額の数値が近く、折れ線グラフが重なる項目については、線の色を修正しました。 |

| No | 該当箇所 | 委員会で出たご意見 | ご意見への対応 |
|----|--|---|---|
| 4 | <p>19ページ</p> <p>V 行財政改革の取組内容</p> <p>重点改革項目4 持続可能な組織の構築</p> | <p>第2回行政改革推進委員会の意見を踏まえて記載を修正された19ページ上部の次の文章について、前段の「手段」と後段の「目的」が噛み合っていないのではないか。前段を「定員の適正化や事務事業の効率化等を図ることにより、」という形にした方が良いかと思う。</p> <p><該当の文章></p> <p>職員一人あたりの労働時間を削減することにより、多様化する行政への市民のニーズなどに迅速に対応できる組織を構築する。</p> | <p>第2回行政改革推進委員会を踏まえ修正する前の文章では、前段を「職員一人あたりの労働時間を削減することにより、」とし、後段を「迅速に対応するためのゆとりある組織を構築する。」という形で、「労働時間の削減」と「ゆとりある」が対応している形となっていました。ご意見を踏まえ、13ページの行財政改革の必要性②の記載と併せ、「ゆとりある」という記載を削除いたしました。</p> <p>ご意見を踏まえ、前段と後段の整合がとれるよう、以下のとおり文章を修正しました。</p> <p>【修正前】</p> <p>「職員一人あたりの労働時間を削減することにより、多様化する行政への市民のニーズなどに迅速に対応できる組織を構築する。」</p> <p>【修正後】</p> <p>「職員の定員適正化や事務事業の効率化等を図ることにより、多様化する行政への市民のニーズなどに迅速に対応できる組織を構築する。」</p> |
| 5 | <p>その他</p> | <p>このプランの期間中、円滑に実施されているのかといった進捗管理が重要と思われれます。</p> <p>また、VUCA*時代と言われる中、プラン期間中においても方向性の修正等の必要性が出てくることもあるかもしれません。そのため、進捗管理や、施策の効果測定をしっかりとられ、目標と実績に乖離が発生すれば、適宜対応されたい。</p> <p>*先行きが不透明で、将来の予測が困難な状態</p> | <p>重点改革項目ごとに設定している数値目標及び具体的な取組項目における各年度の実施状況により進捗管理を行い、その達成状況や著しい社会情勢の変化等を踏まえ、2027（令和9）年度における中間見直しを行ってまいります。</p> |